

事業計画書（実績書）

令和6年3月31日

団体名 綾部市由良川内水処理対策協議会

<p>事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）</p>	<p>由良川と四ツ尾山で囲まれた綾部地区から中筋地区で暮らす人々の生命と財産をおびやかす内水被害の減少を図るため、排水ポンプ場の稼働状況の確認とともに、由良川河床の改善、雨水排水路などの改修を進めていくことの必要性を、関係住民とともに京都府や国へ要請活動を通じて訴えていきます。</p>
<p>事業の名称</p>	<p>綾部市由良川内水処理対策協議会</p>
<p>事業費 （市補助金）</p>	<p>95,046 円 （ 50,000 円 ）</p>
<p>補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）</p>	<p>1. 定時総会（5月） 2. 雨水ポンプ場の運営管理に係る視察および連絡会議 3. 役員会、建設委員会等の開催 4. 関係市民への広報活動</p>
<p>事業実施期日</p>	<p>2023年4月1日 ～ 2024年3月31日</p>
<p>事業実施場所</p>	<p>自治会公会堂など</p>
<p>事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）</p>	<p>念願であった綾部雨水ポンプ場が令和4年4月に完成しました。この地域における内水被害が軽減されることを期待するとともに、この施設実現を先導してきた協議会の責任として、その運用に対しても監視を行いました。また、内水による被害の原因は、由良川河道に堆積した土砂や都市下水路もあり、改善できるよう引き続き要請に向けた検討を行ってまいりました。以上、広域に亘る活動のため、定期的な役員会の開催による情報交換、情報共有をしっかりと行い、目的に沿った活動ができるよう取り組みました。</p>
<p>補助金の効果(成果) （計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。）</p>	<p>近年の自然災害は想定をはるかに超えるものが多く、被害規模を金額で算出することが難しいと考えます。 令和5年度は幸いにして大雨による災害はなく、このポンプ場が稼働することはありませんでしたが、気候変動の影響から激甚化する自然災害に対して、地元住民を代表して引き続き運用面の監視は必要です。 雨水ポンプ場の完成は、綾部市の内水被害対策における大きな成果となりました。由良川および内水における上記諸課題の解決は綾部市民の生命と財産を守ることにつながり、その効果は絶大のものであると考え、引き続き活動を行ってまいります。</p>

様式第4号 (第3条、第7条及び第8条関係)

収支予算書 (計算書)

令和6年3月31日

団体名 綾部市由良川内水処理対策協議会

(単位 円)

	区 分	予算額	収入済額	明 細
	収 入 の 部	市補助金	50,000	50,000
負担金		45,000	45,000	参加団体から
雑収入		0	0	
その他収入		100,000	46	役員負担
繰越金		0	0	
合 計			195,000	95,046
	区 分	予算額	支出済額	明 細
	支 出 の 部	会議費	30,000	33,081
事業費		150,000	46,500	各種要請活動
事務費		15,000	15,465	通信連絡
雑費		0	0	
合 計		195,000	95,046	
差 引		0	0	